

経済産業省北海道経済産業局による事業承継支援の採択について（要旨）

■ 概要

苫小牧市は、経済産業省北海道経済産業局による「中小企業活性化・事業承継総合支援事業」に応募し、事業承継伴走支援の対象自治体に採択されました。

本事業は、地域中小企業・小規模事業者の事業承継を円滑に進めるため、自治体の自律的な支援体制の強化を目的としています。

（令和6年度に応募したが不採択であり、令和7年度応募して採択されたもの）

■ 伴走支援の内容（令和7年9月中旬～令和8年1月下旬）

（1）ワークショップ実施

地域事業者の現状やニーズを整理し、地域の特色を活かしたアクションプラン策定を目指す。

- ・本市としての事業承継支援への取り組みについて、関係機関と意見交換を行う
- ・併せて市の支援内容についてもご意見を伺いながら、将来の方向性を見定める

（2）関係機関との連携体制構築

北海道事業承継・引継ぎ支援センター等、地域関係機関との連携の強化

（3）定期的な意見交換・フォローアップ

支援内容や取組方法・スケジュール等について、関係機関と定期的に意見交換を行い、アクションプラン策定を進める

■ これまでの進捗と今後の流れ（予定）

時期	内容
令和7年8月27日	オンラインヒアリング実施
令和7年9月上旬	支援先自治体選定審査
令和7年9月16日	支援先自治体決定（苫小牧市、北見市、森町）
令和7年10月3日	決定後の打ち合わせ（経産局、委託事業者）
令和7年11月18日	関係する支援機関とワークショップを開催 (国側) 北海道経済産業局、委託事業者 (市側) 北海道事業承継・引継ぎ支援センター、商工会議所、金融協会、信用保証協会、苫小牧市
令和7年12月 ～令和8年1月下旬	// (2回目) 伴走支援によるアクションプラン策定
令和8年3月	成果報告会（策定アクションプランの報告）

■ 期待される効果

本市では100万円の給付金事業をはじめ、事業承継に関する情報発信などの取組を行っているが、今回採択された伴走支援を通じて、課題把握や各関係機関の役割・支援内容の整理を行い、地元企業の廃業防止につながるような新たな支援体制を構築する。